

議席奪還へ「1000万対話・党勢拡大特別月間」スタート

岡山では3日間で街頭宣伝266回



12月18日～20日の3日間、「二中総を実践・議席奪還、政権奪取中国ブロック3日間」作戦が取り組まれました。

18日、大平喜信前衆議院議員が広島市西区・南区10カ所で訴え。「寒い日々となりました。コロナでお困りの方、寒さをしの

のげず震えているご家族が皆さんのまわりにはいないでしょうか。力をあわせて安心のあったかい暮らしを取り戻しましょう。政治はそのためにあります！」と呼び掛けました。

岡山県委員会は、1月の倉敷市議選の支援を含め、全県で宣伝行動を繰り広げ、266カ所で訴えました。すみより聡美衆院比例予定候補も倉敷で先頭に立ちました。

行動した党員からは「寒い中でも家から出て声をかけてくれる人もおり、励まされた」と感想を語っています。

コロナ禍での苦難軽減へ各地で様々な取り組み

「一日水だけで過ごす日もある」「一日の生活費は200円から300円」

中国ブロックの各地でコロナ禍での苦難軽減へ様々な取り組みが行われています。



民青鳥取県委員会は14日、鳥取大学の学長・副学長と懇談。(写真左)

大平さんは14日、広島市でフードバンクの活動にとりくむ「あいあいねっと」の原田佳子代表と懇談。(写真中) 原田代表は「コロナ禍で貧困の深まりが深刻化している。国民の方を向いて政治をしてほしい」と語っていました。

すみより聡美比例予定候補は学生への食料支援やJAとの懇談などを進めています。(写真右)